

ことばキャンプ2月のおたより



今日のレッスンでは、以下のテーマや、言葉を取り上げます。

ワーク（抜粋）	取り上げる言葉（一例）・ワーク解説	補足
どっちにする？	<ul style="list-style-type: none"> ・いちご／りんご ・シール／ビーズ ・チョコレート／アイスクリーム ・すべり台／てつぼう ・タイヤキ／だんご ・一人で外出／一人で留守番 ・お手伝いするなら掃除／皿洗い ・郊外学習／授業参観 ・アフリカ／北極 ・一日体験するなら警察官／消防士 	<p>どっちにする？は2つの選択肢から1つを主体的に選ぶことで自尊感情を（低学年の場合*）、理由を言うことで論理力（高学年の場合）を育みます。</p> <p>*低学年クラスも年度後半になると、子供たちの思考のフレームワークが出来てくるので、理由を短い言葉で言ってもらうことがあります</p>
好きですか、きらいですか？（低学年のみ）	<ul style="list-style-type: none"> ・チョコレート ・パンダ ・だるま 	<p>1つの言葉を、好きか嫌いかで選び、その理由を教えてもらいます。「なぜならば…」という理由に加えて、「例えば…」と具体例が挙げられるといいですね。</p>
今日のプレゼン	<p>もしも魔法が使えたら（低学年）</p> <p>友だちにもやってもらいたい習い事（高学年）</p>	<p>もしも魔法が使えたら、何をしたいですか？</p> <p>習い事をお勧めするか＝自分はどのくらいその習い事に気に入っているか、がわかります。個人的には、ことばキャンプをお勧めしてほしいと思っていますが、どうなるでしょう（笑）</p>
スモールトーク （高学年アドバンス）	<p>「親に子を信じて見守ってほしい」ということ・場面</p>	<p>5-6年生になると親が何か言うとなんか「言われなくてもわかってるよ」「やろうと思っていたんだ」と抵抗があることも増えます。何を見守っていてほしいのか、この機会にきいてみましょう。</p>

ワーク	ワーク解説	補足
ババチョップ (低学年、高学年) マジカルバナナ (高学年アドバンス)	体を動かす楽しいワーク。応答力を鍛えることができます。 言葉の連想ゲームです。拡散的思考力を鍛えることができます。	「普通のバージョン」だけでも難しいのに、インストラクターが二回戦としてやる「時々間違えてしまうバージョン」は、やっているインストラクター本人もよくわからなくなってきた汗をかいています！
メインワーク = 語彙力 ちがいをさがそう (低学年) 言葉を言い換える (高学年)	今月取り上げる7つの力ワークは「語彙力」です。 2枚の絵カードを使って、違いを言葉で表現します。どこが違うのかを具体的に言葉にしたり、〇〇のような(比喩)といった表現も使ってみたりしましょう。 写真を見て、比喩表現を考えるワークです。「まるで〇〇みたいな」「まるで〇〇のような」という表現で子供たちの中にある言葉を探します。大人では思いもつかない比喩表現が出てくることがあります。言葉の表現の楽しさ、自由な発想を楽しめます。	SNS やチャットでのコミュニケーションが増えて「キモイ」「うざい」等、一言や短文で済まそうとするお子さんが多い傾向が続いています。他の言い方ができないのかを意識して声掛けするだけでも語彙力は伸ばすことができます。
ふりかえり	レッスン全体を振り返って自分の取り組みを自分で肯定的に認めます。	セルフリフレクションといって、振り返る・言語化することで次の成長に繋がります。高学年では友達からの花丸コメントももらうことができます。

☆インストラクターから…

今月のテーマは「語彙力」です。一つの言葉を別の言葉で言い換えるワークを通じて、語彙力を意識的に高める練習をします。私自身は、そういう意味での語彙力を鍛えられたのは外国で生活した時です。言いたいことの単語が出てこない時に、別の言い方をして何とか理解してもらおうということを繰り返しました。日本はハイコンテクスト文化(コミュニケーションが文脈に依存する文化)なので、言葉が少なくても相手がかみ取って(先回りして)理解してくれる場面が多いです。そうすると、『伝えることをがんばる』という体験は少なくなります。しかし、それでは語彙力は伸びにくいのです。親の方は、わかっているでも「それってどういうこと?」「別の言い方をすると、どうなる?」のようにわからないふりをして語彙力を高めてあげるのもいいかもしれませんね。